TICKET INFORMATION

意外と知らなかった！お得なチケットパス情報！ 詳しくはWEBで

九州国立博物館 メンバーズプレミアムパス

九博の特別展を合計4回、他の国立博物館（京都・奈良）の特別展は団体料金※で観覧できます。また全国の国立博物館の平常展を何度でも観覧できます。
［料金］一般3,800円、学生2,500円
［有効期限］発行日から1年間

九州国立博物館 キャンパスメンバーズ

大学・大学院や短期大学、高等学校などの学校を対象とした博物館機能を教育に活用するための制度。会員になると、文化交流展（平常展）の無料観覧や特別展の割引観覧などの特典がうけられます。

国立博物館メンバーズパス

4つの国立博物館（九州・東京・京都・奈良）共通の会員制度。平常展は何度でも無料。九州・京都・奈良の特別展は団体料金※で観覧できます。
［料金］一般2,500円、学生1,200円
［有効期限］発行日から1年間

九州国立博物館友の会

九博の特別展を合計6回、他の国立博物館（京都・奈良）の特別展は団体料金※で観覧できます。また全国の国立博物館の平常展を何度でも観覧できます。
［料金］一般7,500円
［有効期限］発行日から1年間

九州国立博物館賛助会

九博の趣旨にご賛同いただける団体様・個人様向けの寄附会員制度です。収蔵品の購入や教育普及活動などを通じて広く文化振興のために活用されます。
いただいたご支援に応じたサービスをご提供しております。

太宰府天満宮＆九州国立博物館共通チケット

太宰府天満宮の宝物殿及び菅公歴史館と、九博の平常展を観覧できます。通常価格で購入するよりも400円お得です。太宰府の歴史をたっぷり満喫。
［料金］一般1,000円

※いずれも団体料金設定のある特別展に限る。

ACCESS

車 九州自動車道太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分

タクシー利用 JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分

JR JR二日市駅から西鉄二日市駅（徒歩約12分、バス約6分）、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用

西鉄バス 博多バスターミナル（1階 11番のりば太宰府行き）から西鉄太宰府駅下車（所要時間約40分）、徒歩約10分

西鉄電車 西鉄福岡（天神）駅から西鉄天神大牟田線で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で太宰府駅下車、徒歩約10分
※特急／急行料金不要

駐車場の空き情報

九州国立博物館周辺の駐車場の空き情報がウェブでチェックできます。右記 QR コードで携帯電話からもチェックできます。
※特別展会期中は混雑が予想されます。
※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。



●身障者駐車場はどちらの入口からでも入れます。
●駐車場（有料）には限りがございます。予めご了承ください。

INFORMATION

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）※夜間開館の実施については九博公式サイトでご確認ください。

休館日 月曜日［ただし4月28日（月）・5月5日（月・祝）は開館、5月7日（水）は休館となります。］

特別展「はにわ」観覧料 一般／2,000円　高大生／1,200円　小中生／800円
※学生証等の提示をお願いします。
※上記料金で4階「文化交流展（平常展）」もご観覧いただけます。

文化交流展観覧料 一般／700円　大学生／350円 ※学生証等の提示をお願いします。
※国際博物館の日を記念して5月18日（日）は文化交流展が無料

※障害者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。高校生以下・18歳未満及び満70歳以上の方、キャンパスメンバーズの方は、文化交流展について無料。展示室入口にて生年月日がわかるもの（生徒手帳、健康保険証、運転免許証等）、学生証、教職員証等をご提示ください。詳細については九博公式サイト等をご確認ください。

九州国立博物館

JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

太宰府天満宮横 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
www.kyuhaku.jp きゅーはく 検索

ご案内　ハローダイヤル（9:00～20:00／年中無休） **050-5542-8600** ※オペレーターが対応します。通話料が発生します。

メルマガやXでも楽しい情報を発信しています！

メルマガ https://fofa.jp/kyuhaku/a.p/101/
Instagram @kyuhaku_koho
X @kyuhaku_koho
Facebook Kyushu National Museum

広告



九州国立博物館 季刊情報誌 Asiage［アジアージュ］vol.76　2025年4月1日発行　発行：九州国立博物館

本誌の全部または一部を無断で複製（コピー）することは禁じられています。

製作：アド印刷株式会社

九州国立博物館 季刊情報誌
KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS
Asiage
20th ANNIVERSARY KYUSHU NATIONAL MUSEUM

九州国立博物館開館20周年記念 特集展示

煌めきの古伊万里

小郡C.C.コレクション

会期 【2025年】4月8日（火）▶7月6日（日）

古伊万里に
ひとめぼれ

◆日韓国交正常化60周年記念
韓国文化遺産の至宝
九博の韓国コレクション
【2025年】5月20日（火）から

◆**新収品展2025**
【2025年】6月3日（火）から

◆開館20周年記念 特別展
九州の国宝 きゅーはくのたから
【2025年】7月5日（土）から

◆開館20周年記念 特別展 **はにわ**
【2025年】5月11日（日）迄



色絵菊牡丹花盆図大蓋物
伊万里（有田）／江戸時代（1700～1730年代）
小郡C.C.コレクション蔵

The Splendid Old Imari Ware
of the Ogōri Country Club Collection

特集展示

煌めきの古伊万里

小郡C.C.コレクション

4階
基本展示室・
第10室・第11室

2025 令和7年
4.8 Tue → 7.6 Sun

2018年に当館に寄贈された小郡カンツリー倶楽部の日本陶磁コレクションの中から、選び抜いた名品を大公開!大半を占めるのは、17世紀半ばからおよそ100年にわたってヨーロッパに輸出され、王侯貴族に愛された黄金期の古伊万里。本展では従来の作品解説にプラスして、より親しみやすい共感型解説によるデュアル解説を行なっています。
色絵や金彩で彩られた、約100件の作品が並ぶ壮麗な古伊万里の世界に浸ってみませんか。



担当学芸員
酒井田 千明

上から見ると
見事な花が



染付花盆図皿
伊万里(有田)／江戸時代(1690~1730年代)
九州国立博物館蔵





あ、プリンのせたい…

思わず、そう呟いたのは当館職員。そんな素直な気持ちで見てもいいんです。「ほんとだね」って友だちと共感しあうのも、あり。実はこのお皿、口径約23cmのビッグサイズで、巨大プリンがのりそう…(笑)
元々は平皿だったが、海外に渡った後、金細工の台座飾りが付けられたのだとか。
これぞ東洋美×西洋美のコラボ!!



わぁ!食べてみたい
美味しそうです!

色絵傘持婦人山水図皿(部分)
伊万里(有田)
江戸時代(1700~1730年代)
九州国立博物館蔵

支え続けて300年!!
天使は縁の下の力持ち!?

古伊万里と天使の競演にひとめぼれ♡ 色絵付に金彩を施した華やかな金襴手の蓋物に、さらに金メッキの取っ手やマウント(台座)をあしらったゴージャスな作品は、ポプリなどを入れて使用していたもの。蓋の裏や器の中にまで繊細な花が描かれている。17~18世紀のヨーロッパでは、エキゾチックで高価な東洋の磁器は、ステイタスシンボル。「白い黄金」ともてはやされ、東洋の皿や壺を飾り立てた「磁器の間」が大流行した。





お、重っ…

色絵菊牡丹花盆図大蓋物
伊万里(有田)
江戸時代(1700~1730年代)
小郡C.C.コレクション蔵

あぁあああ!最悪だ。。。

水注の上に座り込んで頭を抱えた人のしぐさが、かわい過ぎ〜。「なぜ、キミはそんなところに? いったい何をやらかした?」金襴手の華やかな作品とは対照的なファニーな姿に視線集中。床の間に飾られ、隅々まで鑑賞される国内向けの作品と違って、海外輸出用の作品は宮殿の巨大空間を埋め尽くす大型のものが多い。そのためか、絵付も、どこかおおらかで、職人の遊び心が見え隠れ。
職人の遊び心が見え隠れ。
細部までよ〜く見て、楽しんで!





色絵楼閣山水図水注
伊万里(有田)
江戸時代(1700~1720年代)
九州国立博物館蔵

会場内
写真撮影
OK!

ATTENTION

全国の壺ファンの皆様 お待たせいたしました!

高さ80cm級の古伊万里の壺、約10点がステージの上にズラリ勢ぞろい。
ケースなしでサークル状に並ぶさまは圧巻!
艶やかな絵付はもちろん、蓋の上に載った宝珠や鳥、人などの飾りにも注目を。

当時、ヨーロッパの宮殿に飾るにふさわしい、より大きな壺を求められたが、焼き物で作るには限界が…。そこで、蓋に飾りを乗せて高さを出したといわれる。



おこしやす〜♡





色絵花鳥獅子鈕有蓋大壺
伊万里(有田)
江戸時代(1700~1720年代)
九州国立博物館蔵

色絵牡丹菖蒲菊図有蓋大壺
伊万里(有田)
江戸時代(1700~1720年代)
九州国立博物館蔵

なんと、髭剃り用のお皿!!
どうやって使うかは
会場にてご紹介!



色絵花盆図髭皿
伊万里(有田)／江戸時代(1700~1730年代)
九州国立博物館蔵

色絵美人立像
伊万里(有田)
江戸時代(1670~1690年代)
小郡C.C.コレクション蔵

素敵な婦人の背景にいる
小さな人たちにもご注目!



色絵傘持婦人山水図皿
伊万里(有田)／江戸時代(1700~1730年代)
九州国立博物館蔵

お皿が地図だなんて斬新…
方角はかわいい干支で表現。



染付日本地図大皿「本朝天保年製」銘
伊万里(有田)／江戸時代(1831~1845年)
九州国立博物館蔵

PHOTO SPOT

会場内にキラキラフォトスポットも登場!
あなたの「ひとめぼれをシェアしよう」

日韓国交正常化60周年記念

韓国文化遺産の至宝

九博の韓国コレクション

2025年5月20日（火）～6月29日（日）

4階 第9室



吉祥文様による装飾が見事！
愛らしい鶴・亀・鹿などが
隠れていますよ！

日本初公開

朝鮮王室のラスト・プリンセス

徳恵翁主の婚礼調度品



朱漆十長生文螺鈿箪笥
20世紀前半／九州国立博物館蔵



銀製神仙炉
20世紀前半／九州国立博物館蔵



香水瓶
20世紀前半／九州国立博物館蔵

時代に翻弄された、美しき王女の物語

1912年、朝鮮国王・大韓帝国皇帝であった高宗の末娘として誕生。日本への留学、対馬の宗武志伯爵との結婚、病や一人娘の不幸…激動の時代のなかで韓国と日本で波乱の生涯を送った悲劇の王女。「愛し妻よ 鳴るや 渡殿…」武志が妻・徳恵に捧げた詩には愛が溢れていたのだが…



幻の朝鮮山水画の傑作！

倣郭熙秋景山水図
朝鮮時代・15世紀／九州国立博物館蔵



担当学芸員
大澤 信

令和7年は日韓国交正常化60周年。そこで、九博が開館以来20年にわたって収集してきた韓国史を綴る文化財約20件を一挙公開。中でも朝鮮王朝第26代国王高宗の王女・徳恵翁主の婚礼調度品は必見！精緻な模様が施された寿ぎの品は惚れぼれする美しさです。ぜひ実物をご覧頂きたいと思います！

新収品展2025

会期　2025年6月3日（火）～7月13日（日）

4階 第3室

毎年恒例！新たに収蔵された作品＝新収品をお披露目する「新収品展」。今回は、令和6年度に購入、またはご寄贈いただいた作品の中から選り抜きの20件を展示します。開館20周年を迎える九博のコレクションを賑やかに彩る、個性豊かな作品の数々をどうぞお楽しみください。



ボクが きゅーはくの 番犬だ！

緑釉犬
後漢時代・1～2世紀
九州国立博物館蔵

担当学芸員
川村 佳男

後漢（中国）生まれ、イギリス育ち 2000年を旅したワンちゃん

耳をピンと立て歯を見せて前方を睨む、陶器の犬は2000年ほど前の漢代の陵墓から出土。死者を守る番犬だったと考えられる。20世紀初頭に英国貴族の手に渡り、満を持して九博へ。

縄文時代のパワーストーン



重要文化財
翡翠の大珠
縄文時代・
紀元前3000～前2000年
九州国立博物館蔵

縄文時代の大珠と呼ばれる翡翠の装身具。長さ14.8cmで、国内で3番目に大きい。翡翠の産地・新潟県糸魚川から離れた福島県で発見。地域交流の証か。



蒙古襲来絵詞模本（部分）江戸時代・18～19世紀／九州国立博物館蔵

モンゴル（蒙古）襲来の際に戦った竹崎季長が自らの武勇を描かせた絵巻物の模本。現在40種類ほど知られている模本のひとつで、人物や樹木などの細やかな筆致にご注目。教科書でおなじみのあのシーンを公開！

20th ANNIVERSARY KYUSHU NATIONAL MUSEUM

おかげさまで、大好評開催中!!

挂甲の武人 国宝指定50周年記念
九州国立博物館開館20周年記念
放送100年／朝日新聞西部本社発刊90周年記念

特別展 はにわ

期間 2025年 5.11（日）まで

好評開催中の特別展「はにわ」。3月18日(火)から展示替えもあり、引き続きディープな「ハニワールド」へみなさんを誘います。日本の古墳時代、王墓に立てられた形象埴輪は複数の人や動物などを組み合わせ、当時の様子を物語ります。そのユニークな表情やしぐさはもちろん、当時の最先端であろう、古墳時代ファッションにもぜひ注目してみてください！



重要文化財
埴輪 ひざまずく男子
茨城県桜川市青木出土
古墳時代・6世紀
大阪歴史博物館保管

会場内写真撮影 OK!
※一部展示除く



担当学芸員
白井 克也



埴輪 力士（部分）
大阪府高槻市 今城塚古墳出土
古墳時代・6世紀
大阪・高槻市立今城塚古代歴史館蔵

旗を立てた表現は日本で唯一！



馬は古墳時代に朝鮮半島から渡来。豪華な馬具を付けた飾り馬は王の権威の象徴。

重要文化財
旗を立てた馬形埴輪
埼玉県行田市 酒巻14号墳出土
古墳時代・6世紀
埼玉・行田市郷土博物館蔵

杯を捧げる埴輪女子たちのファッションをチェック!

これぞ古墳時代、憧れのオートクチュール！かも…

人物埴輪では王を取り巻くさまざまな人々が表現されています。中でも、杯を捧げる高貴な埴輪女子のいでたちをピックアップ。国宝の彼女は6世紀頃に朝鮮半島から伝わった最先端のファッションもバッチリ決めていますよ。

国宝

朝鮮半島由来の愛されプリーツスカート！



▶埴輪 正座の女子（部分）
群馬県高崎市 綿貫観音山古墳出土
古墳時代・6世紀
文化庁蔵（群馬県立歴史博物館保管）

幾何学模様の攻めファッション！



▶埴輪 杯を捧げる女子（部分）
群馬県高崎市 上芝古墳出土
古墳時代・6世紀／東京国立博物館蔵

アバンギャルドなフォルムでも、当時の伝統的スタイル



◀埴輪 捧げ物をする女子（部分）
大阪府高槻市 今城塚古墳出土
古墳時代・6世紀
大阪・高槻市立今城塚古代歴史館蔵

この夏の開館20周年記念特別展は、九州地域と九博の「宝」が主役。九州・沖縄ゆかりの国宝と、九博が20年かけて集めた約18,000件のコレクションから選りすぐりの逸品をご紹介します。「国宝」とは、重要文化財の中からさらに厳選された至高の文化財。それが一同に並ぶ展示は圧巻間違いなし!また「きゅーはくのたから」としては、体験型展示やデジタル映像を活用するなど、多彩なアプローチで作品の魅力をより深く感じていただけるよう随所に工夫を凝らします。文化財を身近に感じながら、お気に入りを探してみるのもきっと楽しいですよ!

九州国立博物館開館
20周年記念特別展

きゅーはくのたから
九州の国宝



担当学芸員
伊藤 信二

アニバーサリーイヤーを盛り上げよう!
あっぱれ国宝、大集合!



人形人参も大活躍!

2025. 7/5(土) ≦ 8/31(日)
3階 特別展示室

重要文化財 人形人参(対馬宗家関係資料)
江戸時代・正徳3年(1713)／九州国立博物館蔵



国宝
金製指輪(宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品)
新羅・5~6世紀／福岡・宗像大社蔵
花文様が可憐な純金の指輪は新羅由来のデザイン。国内出土品の中で最も装飾が細やかな最高級品である。
※7/23(水)~8/3(日)の限定展示!



お宝ざっくざく!

色絵獅子香炉
仁清
江戸時代・17世紀／九州国立博物館蔵
(坂本五郎氏寄贈)



縁結びスポット登場!
九博に2013年にやってきた女神像と2023年収集の男神像。平安時代に一対の夫婦神として作られ、離れ離れだったものが九博で奇跡の再会。
いや~めでたい!
(左) 重要文化財 男神坐像
(右) 女神坐像
平安時代・12世紀／九州国立博物館蔵

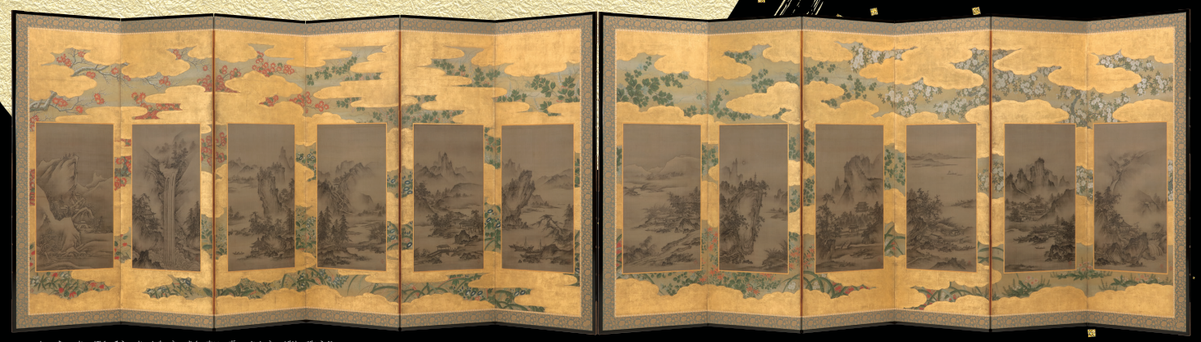
20th ANNIVERSARY
KYUSHU NATIONAL MUSEUM

キヤノン株式会社様とNPO法人 京都文化協会様より
狩野派繁栄の礎「狩野元信の金屏風」
高精細複製品が寄贈されました。

漢画(中国風の水墨画)にやまと絵の画法を取り合わせた「和漢融合」の様式美を誇る本作は、日本とアジアの文化交流をコンセプトに掲げる九博の開館20周年を彩るにふさわしい華やかさ。実物は米国・スミソニアン国立アジア美術館所蔵で門外不出。現地で2度、実物を見ている当館研究員も「本物と見まごうばかりの最上級の分身」と太鼓判を押します。



受贈式の様子



四季花木草花下絵山水図押絵貼屏風(高精細複製品)／九州国立博物館蔵
原品:狩野元信筆　室町時代・16世紀　スミソニアン国立アジア美術館蔵
Kano Motonobu, Landscapes, flowers, and trees of the four seasons / National Museum of Asian Art, Smithsonian Institution, Freer Collection, Purchase — Charles Lang Freer Endowment, F1955.25-26　※現在、展示しておりません

日本の文化を未来へ受け継ぐ
TSUZURI PROJECT

「綴プロジェクト」は、キヤノンと京都文化協会が共同で取り組む文化支援活動です。先進技術でオリジナルの微妙な風合いや質感までを忠実にプリント。そこに金箔や表装など伝統工芸士の匠の技を融合させることにより完成する高精細複製品は文化財ゆかりの社寺や自治体、博物館などに寄贈されています。

犬?鹿?オス?メス?
謎だらけの「見返り」アニマル

あまりにかわいく、印象的な「見返り」ポーズの埴輪。だが「何の動物か」と具体的に尋ねられたら、考え込まずにはいられない。馬?それとも犬?
本作は昭和4年(1929)、群馬県伊勢崎市にあった上武士天神山古墳(現在は消滅)から出土したとされる、動物埴輪のひとつ。首輪に鈴をつけた犬、鶏冠をもつ鶏、鼻や尾がいかにもそれらしい猪などある中で、この作品は当初、犬と判断されたらしい。そのため昭和33年(1958)、重要文化財の指定を受ける際の名称は、《埴輪 犬》。なるほど、確かに犬にも見える。
だが斜めに切り落とされた足先が蹄の表現と、考えられること、尾が丸まらず下に垂れること、口元に牙がないこと、そして狩人の気配を察知した鹿が、警戒して背後を振り返る「見返り」ポーズであること(他の鹿型埴輪にも例がある)などから、九州国立博物館に収蔵される際、《埴輪 鹿》と改められることになった。ならば角もないし雌鹿か、と思えばそうとも限らないらしい。実は本作は、頭頂部が一度失われ、復元してあるという。丁寧な仕上げのおかげで一見してそれとわからないが、失われた頭に角がついていたかどうかを知るすべはもはやない。果たしてこの鹿がオスかメスか、読者の皆さんはどう考えるだろう。



きれいに見えても頭頂部は後世の復元。

《重要文化財》
鹿形埴輪

展示期間 2025年5月11日(日)まで
出土 群馬県伊勢崎市 剛志(上武士)天神山古墳
時代・世紀 古墳時代・6世紀
所蔵 九州国立博物館

特別展 はにわ(3階)にて展示しています。



学芸プロデューサー
橋本麻里さん

学芸プロデューサー。甘橘山美術館開設準備室長。新著に『図書館を建てる、図書館で暮らす―本のための家づくり―』(新潮社)。
X(旧Twitter):@hashimoto_tokyo